



平成23年3月28日

各位

上場会社名 日本商業開発株式会社  
 代表者 代表取締役社長 松岡 哲也  
 (コード番号 3252)  
 問合せ先責任者 取締役財務・経理本部長 入江 賢治  
 (TEL 06-4706-7501)

## 業績予想の修正及び配当予想の修正(復配)に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月12日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,800	580	410	380	34,218.82
今回修正予想(B)	1,140	300	170	130	11,706.44
増減額(B-A)	△4,660	△280	△240	△250	
増減率(%)	△80.3	△48.3	△58.5	△65.8	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	7,993	607	331	244	22,019.99

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,300	△200	△220	10	900.50
今回修正予想(B)	850	40	40	80	7,203.96
増減額(B-A)	△450	240	260	70	
増減率(%)	△34.6	—	—	700.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	5,263	271	168	168	15,192.19

#### 修正の理由

当社グループは、予てより当社グループのビジネスモデルであります「JINUSHIビジネス」の基本的な考え方である、投資家のリスクを最小限に留め利益を長期に安定して得られる安全な不動産投資商品としての販売用不動産の売却促進を図っておりました。

しかしながら、当事業年度の計画に織り込んでいた販売用不動産の売却は、大筋で投資家との合意に至っているものの、契約の締結及び当該物件の引渡し・代金決済が翌期になる見通しになりました。

なお、個別業績につきましては、売上高は予想値に届かなかったものの、利益率の高いコンサルティング事業を中心に実績を残したことから、利益面では予想を上回り黒字を確保いたしました。

従いまして、平成23年3月期の通期業績予想を上表のとおり修正いたします。

また、連結・個別業績とも当期純利益は税効果会計適用前の数値であります。

## ● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成22年5月12日発表)	—	0.00	—	0.00	0.00
今回修正予想	—	—	—	1,000.00	1,000.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成22年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

### 修正の理由

#### (1) 実施に至るまでの経緯

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけており、各事業年度ごとの利益の状況、将来の事業展望などを勘案して、安定的に配当を行うことを基本方針としております。

平成20年秋のリーマンショックにより、平成21年3月期は創業来初めての赤字決算となりました。その後、鋭意営業努力を重ねるとともに、役員報酬の大幅なカット、従業員給与の減額、その他諸経費の削減等により前事業年度の業績は急回復し黒字化を達成しました。

ただ、財務体質強化のために内部留保を図ることとし、前事業年度に係る剰余金の配当は見送らせていただくとともに、当事業年度の当社個別業績に係る営業利益及び経常利益は赤字と予想し、また当期純利益は僅少であると想定いたしましたため、当事業年度の剰余金の配当の実施はないものとしておりました。

#### (2) 復配の理由

(1)のとおりではありますが、当事業年度の当社個別業績は、上記「平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)」のとおり、黒字化を達成する見通しであること、また、当事業年度において計上する予定であった取引が翌事業年度において実現する見通しであることなど、翌事業年度においても適正な利益を確保できる見込みにつき、些少ではありますが、復配することを本日開催の取締役会にて決定いたしました。

なお、剰余金の配当につきましては第11期定時株主総会の決議を経て実施する予定であります。

(注)上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる可能性があります。

以 上